

ゆがわ議会だより



令和2年

第113号

4月28日発行

表紙：交通安全教室（4月14日）

主な
内容

- ◆ 3月定例会提出議案審議…………… P 2～5
- ◆ 中央省庁要望・県東京事務所との意見交換会 …… P 6
- ◆ 一般質問（8議員が村政を問う）…… P 7～14
- ◆ 委員会報告…………… P 15
- ◆ 議会の主な動き・編集後記…………… P 16

交通ルールは
しっかり守ろうね！

一般会計予算 可決!

28億6500万円でスタート!

3月 定例会

第533回定例会

中央省庁要望

一般質問

委員会報告

3月定例会が3月9日から19日まで11日間の会期で開催されました。
村長から提案された令和2年度各会計の当初予算をはじめ、補正予算や条例の改正、「地域活性化施設（たから館）」の指定管理者の指定、人事案件など、32件が審議され、全議案可決されました。

また、13日・16日の2日間行われた一般質問には、8名が登壇し三澤村政について問いました。
さらに、議員提出議案として「原発廃炉の汚染水放出に関する意見書」「三澤村長の辞職勧告決議」2件が提出され、いずれの議案も賛成多数で可決となりました。（詳細はP4へ掲載）

令和2年度村の施政方針 8つのポイント

- ①人口減少・少子化対策として、穂花地区に若者定住住宅20戸のうち残り10戸を建設
- ②子育て支援施策の更なる充実
- ③湯川村農業振興ビジョンの策定
- ④「ふるさと納税」制度を活用し、「湯川米」のブランド化
- ⑤プレミアム商品券で商業を振興
- ⑥介護予防事業の普及・支援
- ⑦外国語教育の充実を図るためALT（外国語指導助手）を2人体制
- ⑧移住定住政策の促進

重点事業 今年が目玉 ピックアップ!

第五次湯川村振興計画基本目標に関連のある主な重点事業

I 安全・安心で誰もが快適に住めるむらづくり（主に総務課）

・防災行政無線設置関連経費	2億6978万円
・会津若松地方広域圏整備組合負担金（消防）	7391万円
・会津若松地方広域圏整備組合負担金（清掃）	2013万円
・一般廃棄物ほか資源物等収集運搬委託料	786万円
・市町村生活交通対策事業負担金	895万円
・生活交通対策事業負担金	279万円
・消防補償等特別会計負担金	442万円
・特定環境公共下水道事業繰出金	9347万円
・農業集落排水事業繰出金	3624万円

【防災行政無線設置工事の概要】

- ◆目的 災害時の緊急連絡手段として、すべての住民及び来村者へ情報を一斉に伝達することが可能な防災通信網を構築する。
- ◆財源 整備費2億6978万円のすべてを緊急防災・減債事業債という借入金で賄います。なお、借入金のうち70%は地方交付税として国より交付されますので、実質の村負担は30%になります。
- ◆スピーカー設置場所 村内9か所
役場、笈川運動公園、勝常村営駐車場、高瀬公園、浜崎集会所、村営野球場、三島公園、農業共済組合、熊川集会所
- ◆放送内容 防災・防犯・行政広報等に限定予定

Ⅱ いつでも健康で共に支え合えるむらづくり（住民課）

・社会福祉協議会運営交付金	1500万円
・高校生冬期間通学支援金	162万円
・敬老祝金	215万円
・高齢者タクシー利用料金助成事業	630万円
・村デイサービスセンター空調機器改修工事	3556万円
・出産・就学祝助成金	290万円
・子どもの医療費助成事業	1632万円
・インフルエンザ予防接種事業（高齢者）	296万円



多くの参列者で賑わった令和元年度敬老会

Ⅲ 美しい田園風景と活力ある産業基盤のむらづくり（産業建設課）

・湯川村農家応援事業委託料（ふるさと納税）	2162万円
・「人の駅・川の駅・道の駅」指定管理委託料等	1620万円
・新米祭・産業文化祭委託料	360万円
・地力増進事業	500万円
・大規模農業経営体育成支援事業	800万円
・園芸振興作物機械施設資材等購入事業補助金	500万円
・多面的支払交付金（共同）補助金	4553万円
・地籍調査事業業務委託料（笈川地区）	632万円
・地域活性化事業（プレミアム付商品券・商工会）	256万円
・ふるさとおこし推進対策事業補助金	627万円
・若者定住住宅建設整備工事請負費	2億1012万円



20棟のうち10棟が完成した穂花

Ⅳ 笑顔で学ぶ心豊かなむらづくり（教育委員会）

・保育所給食業務委託料	990万円
・放課後児童クラブ事業	1008万円
・幼稚園送迎バス運行管理事業（委託料）	760万円
・外国青年英語指導助手招致事業（2名分）	873万円
・中体連等選手派遣費	268万円
・幼稚園副食調理業務委託料	874万円
・幼稚園エアコン設置設計委託料	150万円
・公民館外壁修繕工事請負費	1400万円
・文化財保護事業	1183万円
・各種スポーツ大会等振興事業（委託料・負担金）	275万円
・学校給食事業（会津坂下町委託事業）	3748万円



盛り上がりを見せた令和元年度村民運動会

Ⅴ お互いに心行き交うむらづくり（主に総務課）

・公共施設総合管理計画改訂支援業務委託料	473万円
・過疎地域自立促進基金積立事業	3500万円
・清掃業務委託料（庁舎等6名分）	1650万円

主な案の内容

一般会計当初予算

令和元年度一般会計当初予算は、①限られた財源の中で施策を重点化し効率的に事業を推進するため、職員自らが主体的に事業の優先度を考え、徹底した無駄の排除を行う②施策と施策あるいは、事業と事業を互いに連携させることによって、その効果を更に高めていく必要があります。

このことを念頭に置き、規模を歳入歳出予算総額28億6500万円と定め、前年度に比べ2億8400万円の増額、率で11・0%の増とし、賛成多数で可決されました。

なお、それぞれに反対賛成の討論がありました。

反対討論（片桐英子）

保育所給食事業について、村が考えている民営化は、給食に対する職員の関与が薄くなってしまう。

また、学校図書館司書設置は村の努力義務であり必要性を提案しているが前向きな回答がない。

さらに国保税均等割免除についても、子育て支援の一環として必要性を訴えているが、却下となっている。よって、本案に反対するものである。

賛成討論（篠竹正弘）

現在、村では大型公共事業の償還が始まっている。本案には地方債の償還、防災行政無線設置や若者定住事業など住民に直結する事業が組まれており、住民の安全安心、商工業、農業、子育て支援など、切れ目のないサービスを行うことが重要である。

よって、必要な予算であり可決を強く望むものである。

原発の放射能汚染水の取り扱い及び風評対策を求める意見書 可決

【議員提出議案第1号】

原発の汚染水処理を適切に行い、新たな風評被害を生じないよう徹底した対策を求める意見書が全議員賛成のもと可決されました。意見書は国等の関係機関へ提出することになります。

【提案理由】

国は、トリチウム水の処分方法として海洋放出と大気放出の2案を「現実的な選択肢」とする報告書を選択筋で了承した。トリチウム水の処分は、住民の理解なくして進めることはできず、今後の対応いかんによって、本村を含む福島県全体に更なる風評被害を助長する。

よって、トリチウム水を適切に取り扱うとともに、新たな風評が生じないように徹底した対策を講ずることを強く要望する。

三澤豊隆村長の辞職勧告決議 可決

【議員提出議案第2号】

三澤村長の辞職勧告決議の動議が、最終日の19日に議員提出議案として提案され、賛成多数で可決されました。提案理由は次のとおりです。

【提案理由】

「道の駅あいづ 湯川会津坂下」に関する裁判では、某テナントに対して明け渡し訴訟を起こしたにも拘わらず、和解勧告に簡単に応じてしまい多額の裁判費用が使われた中で村長の責任は免れない。

「第21回会津ふるさと映画祭」は、30万円の村税が投入された行事であるが、この入場整理券を、村長が自らの後援会員に配布した事実が判明し、公職選挙法違反の疑いがかなり濃厚になった。

さらに、村長は、湯川村が水田農業を基幹産業とする自治体であるにも拘らず、会津東部土地改良区の新年

会を欠席しながら「ロータリークラブ」の会合に2年連続で出席した。

これまでの定例会における三澤村長の態度は、可とも否とも判断の付かない答弁を度々繰り返し、議員の質問に対して真摯に向き合おうとしない高圧的な態度は言語道断であり、リーダーシップの欠如が明確である。

村政の停滞、私物化は、いついかなる理由があるうとも許されるものではない。三澤村長が即刻辞任されること、村民にとって最良の選択であることを申し上げ、三澤村長の辞職勧告を決議する。

ポイント

議員から提出される決議等は、一定の賛成者があれば、日程に追加し、議案として議決することが定められています。

（会議規則第13条）

第533回 3月定例会における議員の賛否の公表

(湯川村議会基本条例第4条6項に基づき公表いたします。)

議案 番号	件 名	賛否	1 小沢 甲市	2 片桐 英子	3 三澤 榮三	4 高倉 好博	5 菅沼 弘志	6 小野 澄雄	7 小林 孝一	8 小野 淳一	9 篠竹 正弘	10 斎藤 賢一
1	令和2年度湯川村一般会計予算	可決	○	×	○	○	×	○	○	○	○	議長
2	令和2年度湯川村国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
3	令和2年度湯川村特定環境保全公共下水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
4	令和2年度湯川村農業集落排水事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
5	令和2年度湯川村介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
6	令和2年度湯川村後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
7	令和2年度湯川村墓地事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
8	令和元年度湯川村一般会計補正予算（第7号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
9	令和元年度湯川村国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
10	令和元年度湯川村特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
11	令和元年度湯川村農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
12	令和元年度湯川村介護保険特別会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
13	令和元年度湯川村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
14	単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準に関する条例を廃止する条例について	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	議長
15	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
16	湯川村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
17	湯川村特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
18	湯川村交通教育専門員設置条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
19	湯川村税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議長
20	湯川村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
21	湯川村介護保険条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
22	湯川村復興産業集積区域における村税の特例に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
23	湯川村指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
24	湯川村地域活性化施設条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
25	湯川村道路占用料徴収条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
26	湯川村村道の構造の技術的基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
27	湯川村営住宅管理条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
28	湯川村若者定住住宅管理条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
29	湯川村社会教育指導員設置条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
30	湯川村地域活性化施設の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
31	令和元年度湯川村一般会計補正予算（第8号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
32	湯川村副村長の選任につき同意を求めることについて	同意	無記名投票の結果、賛成9票、反対0票									議長
議員提出議案第1号	福島第一原発の放射能汚染水の取り扱い及び新たな風評が生じないよう徹底した対策を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議員提出議案第2号	三澤豊隆村長の辞職を勧告する決議	可決	×	○	×	○	○	○	○	×	×	議長

*「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、議長は議決に加わらないため議長裁決以外は「議長」と表記。

中央省庁・

国会議員要望

(令和2年2月19日)

総務文教常任委員会

委員長 高倉 好博

過疎法の継続について、我が湯川村は農業を基幹産業としています。その事業を支えているのが過疎対策事業債であり、それによってさまざまな事業を展開してきたところであります。

しかし、令和3年3月末をもって、この元となる過疎法が失効することとなるため、引き続き過疎地域に対して住民の暮らしを支えていく政策を確立することが重要であることから、「過疎地域が引き続き過疎対策を充実強化させることが必要であり新たな過疎対策法を制定するよう強く要望します。」といった内容で総務省の斎藤洋明総務大臣政務官に要望してきたところであります。

色々と懇談する中から国

としても新たな過疎法の制定について、継続することを考えているような話しぶりであり、一応に手ごたえを感じ要望活動を終えてきたところであります。



議員団 要望書を総務大臣政務官 斎藤洋明に手渡す

経済常任委員会

委員長 小林 孝一

議会の大きな役割の一つに地元の声を中央に届けるという重要な役割があります。

議会として、今後、湯川村農業のあるべき姿を議論を重ねた結果、次の3点に

ついて農林水産省に対しての要望活動を実施しました。

① 団塊の世代の現役引退を迎えようとしている今、早急に新たな担い手を育成することが喫緊の課題であります。「大規模専業農家」

「兼業を含めた家族農業経営体」「農業法人」の3者が共存することが重要であり、大規模農家への支援に集中している現状に対し、村内の農家の大宗をなす家族農業を守る施策の重要性を訴えてまいりました。集落の機能を守らなければ農業の持続的発展は不可能であることを重ねて訴えてまいりました。

② 農業経営が安定するためにはコメの需給バランスと米価安定のための仕組みづくりを進めることが大切であり、その重要性を要望しました。

③ 風評対策について、各分野への影響は依然として続いています。国が責任をもって積極的な対策を講じること、財政支援制度の確立を図ることを要望しました。

た。

この3点を農水省政務官藤木眞也氏との直接懇談を通し農業の在り方、支援策等についての湯川村の要望を訴えてまいりました。



議員団 要望書を農林水産大臣政務官 藤木眞也に手渡す

県東京事務所長

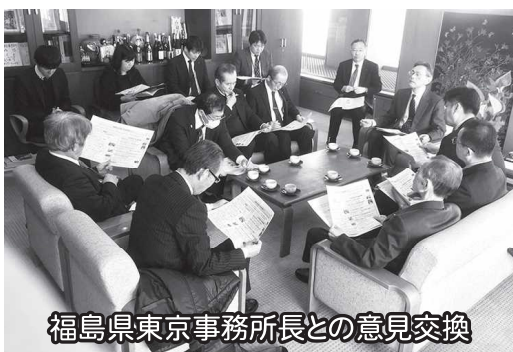
との意見交換会

(2月20日)

広報広聴委員会

委員長 篠竹 正弘

今年2月に福島県東京事務所にて、県における移住



福島県東京事務所長との意見交換

・定住促進対策について意見交換をしてきました。県では福島県移住ポータルサイト、移住相談会、交流フェスタ等の情報発信をし、受入体制の強化・受入環境の整備をしています。中でも県内7方に移住コーディネーターを配置し取組んでいます。

本村においても県との情報連携を密にし地域の受け皿づくり・ニーズ把握・移住者のマッチング等を分析・調査し、村の活性化に繋がる施策が必要であると感じました。

村政を問う

一般質問

3月定例会

小沢 甲市
議員

問

高齢者支援の向上
対策行政サービスと
健全財政の運営はどのよう
に進めていくのか？また、
税金の滞納に対する対応と
村営墓地の分譲について伺
う。

答

人口減少へ歯止め
をかけるための定住
促進事業や防災行政無線の
整備を軸とした防災・減災
事業、さらに子育て支援や
老人福祉施策等を優先した
上で、「最小の経費で最大
の効果」が得られるよう、
鋭意努力していく。

税の滞納について、長期
間の滞納者や、連絡不通、
所在不明の方への対応とし
て、預貯金調査を始めてお
り法的措置を検討している。
村営墓地は、現在48区画
中13区画が永代使用されて
いる。今後は墓地見学者に
好イメージを持っていただ
けるよう墓地管理を実施し
ていく。

今夏の渇水対策は
利水調整員を新設

問

今年の冬は降雪量
が少ない暖冬で、農

業用水等が心配である。特
に会津中央土地改良区管轄
の勝常地区は、水不足が懸
念されるがどのような対策
をとっているのか？

答

今後の用水量の確
保は、降雨状況に左
右され、不安定な状況とな
る。会津中央土地改良区で
は、各集落における利水調
整員の新設等、2年前の渇
水時の教訓を踏まえながら、
特にソフト対策に力を入れ
ていく。

ハード部分では、旧簡易
水道源地地の水源を利用し
た渇水対策を検討している。
流水量は、最大で毎分1・
2m³あり、予備水として運
用できるよう鋭意放水方法
の検討を進めていく。

村道勝常王領線未整
備区間の検討を！

問

村道勝常・王領線
の下樽川集落内の道
路は幅も狭く歩道のない状
態である。年々交通量も増
えており、小中学生の通学
路にもなっており危険な状
況である。また下樽川地区

には若者定住住宅団地穂花
にも入居して人も車も増え
ているので早急に整備が必
要と思うが考えを伺う。

答

平成8・9年度に
国の補助事業で改良
舗装工事を実施したが、「下
樽川集落内」及び集落西側
188m区間は、地権者の
同意が得られず整備できな
かった。

平成29年に通学路の安全
対策として、緑色カラー舗
装を設置したが、今後、再
度地権者及び下樽川区と協
議を行い、国県の補助事業



村道勝常王領線のカラー舗装(下樽川地内)

問

今年度中に村農業
振興ビジョンを策定
するということだったが、
進捗状況は？また、(株)会津
湯川ファームの経営計画は
？

答

ビジョン策定の進
捗状況は、本年度末
1回、次年度2回程度、委
員会を開催しより実効性の
あるビジョンを目指したい。
ビジョンには、湯川ファーム
へ期待する役割や可能性
等について位置付け、村が
実施できる支援と合わせて、
基本構想で明記していきた
い。



小沢議員の一般質問の
模様を上記QRから
動画でご覧になれます。

村政を問う

一般質問

3月定例会

片桐 英子
議員

問

図書館司書の設置について、優先順位として、必ずしも高くないという回答であった。しかし、新年度から順次実施される新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」を実現する場として学校図書館の活用を掲げてある。社会教育充実のためにも図書館司書を設置すべきと考えるが見解は？

答

学校図書館司書の配置により、児童生徒の読書活動や学習活動が盛んになり、読解力向上などの効果は大いに期待できる。しかし、図書館司書の必要性和設置の可能性の順位は必ずしも一致してない。人的配置だけに頼ることなく、子どもたちの読書力向上に努めるため、学校図書室の環境整備や新刊図書の購入、学校のみでなく家庭における読書の習慣づけなど、各学校において積極的に取り組んでいるところである。社会教育活動の面からも、

ユースピアゆがわにおける図書利用の推進や読み聞かせ教室の活発な展開など、今後もより一層の推進を図っていく。



ユースピアゆがわの図書スペース

問

保育所給食の民間委託について、今までは、保育所給食が直営のため民間委託されている幼稚園給食まで村栄養士が関わっていたが、保育所給食までが民間委託となると保育所給食だけでなく、「保育所における給食の趣旨」を踏まえた幼稚園給食までも村の目が届きにくくなる。経費節減のために民間委託を

保育所給食は民間委託

進めているのなら、どの位の経費が削減されるのか示されたい。また、経費がかかっても今までのように直営できないのか伺う。

答

給食業務を民間委託した場合も、現在の方針を基本的には引き継ぐことを条件に選定を行うので、「保育所における給食の趣旨」が損なわれることはない。

管理の面でも、保育所長を中心に細心の注意を払いながら業務を進めていく。民間委託により削減される経費は、年額600万円程度と見込んでいる。

また、村直営による給食提供の継続は、考えてない。

18歳以下国保税減免は行おう考えはない

問

18歳以下の国保税均等割は時代にそぐわない子育て支援を妨げる負担である。また、消費税増税は子育て世代には特に負担増となっている。子

育てにやさしい村として均等割を免除できないか？

答

国民健康保険事業は特別会計の中で運営しており、一部免除となれば不足する財源は法定外の繰入で補うこととなり、課題が発生する。

一つ目は、国保の被保険者以外の税を充当すること、二つ目は、それに伴い国保被保険者以外の村民からの理解を得られないこと、三つ目は、一般会計を圧迫することが挙げられる。

また、国と地方の協議の場でも「適当ではない」との意見がある。よって、今まで通り免除を行う考えはないのでご理解願いたい。



片桐議員の一般質問の模様を上記QRから動画でご覧になれます。

村政を問う

一般質問

3月定例会

高倉 好博
議員

問

選挙事務における立候補届出書類の確認について、立候補届出の書類に「選挙候補者略歴調書」があり、その中に学歴の記入欄があるが、記載内容の正確性をどのように確認しているのか？

答

選挙執行時における立候補届出書類の受理を行う際、法的に必須となる書類は、「候補者届出書」であり、その添付書類として、①「供託証明書」、②「候補者となることのできない者でない旨の宣誓書」、③「所属党派証明書」、④「戸籍の謄本又は抄本」、⑤「通称認定申請書及び通称の説明資料」の5種類があり、そのほか、任意の提出書類の一つに「選挙候補者略歴調書」がある。この書類は、主に立候補者の略歴を報道機関等に公表するための基礎となる書類で、立候補者本人がその責任の上で記載し、選挙管理委員会で受理するものである。記載内容についての確認は行う必要もないものと解している。

問

10月27日執行の三澤豊隆候補者のリフレットに昭和41年会津高校中退とあるが間違いないか？

答

議会議員4期、村長として2期目であり、6回の選挙を実施してきており、私の学歴履歴に偽りはない。そのことを確認いただければ幸いである。お示しした略歴で村民の方にお伝えしてきており、何ら偽りはない。

新規就農への希望者は数名程度

問

現在における村の新規就農者の現状は？

答

新規就農者は、平成25年度を最後に認定者がいない。補助事業要件に該当しない広義の部分での新規就農者は、地域おこし協力隊員を含め、数名程度、就農の希望を持っていてはいるようだが、確実な人数は把握していない。

問

人口減少時代における子育て支援についての対策と取組みを伺う。

答

村の独自事業として、出産祝金及び小学校入学祝金制度として50000円を保護者へ贈るよう予算計上している。また、子育て世代包括支援センター、保健センターにおいて妊産婦健康診査・新生児聴覚検査、産後ケア等を実施している。

【教育長答弁】

保育所では、第2子は半額、第3子以降は無償とし、幼稚園は授業料、預かり保育を無料化している。小中学校においては、低所得世帯に対する就学援助、給食費の一部村負担、減免第3子無償化を実施している。

問

生涯学習の在り方、地域住民の生涯学習の支援の方向付けについて伺う。

答

①体育館・野球場・公民館・ユースピ



高倉議員の一般質問の模様を上記QRから動画でご覧になれます。



毎年8月に実施される村民ソフトボール大会

アなどの公共施設の優先的な確保
②職員等の人的協力として、各種会議資料の作成の手伝い
③各種スポーツ大会等の要望の聞き取り・財政支援・村文化体育振興基金の活用
以上のように支援している。

村政を問う

一般質問

3月定例会

小野 淳一
議員県道への格上げ
若建に要望

問 村道を県道に変更することについて、

亀ヶ代集落から中ノ目集落の国道49号線に出るまでの村道について、県道に格上げ要望する考えはあるか？

答

指摘の村道は、総延長986・2mの1級路線の村道亀ヶ代中ノ目線であり、昭和59年3月9日に村道認定になっている。また、亀ヶ代集落から北に上田谷地集落まで延びる県道熊の目浜崎線については、昭和34年8月31日に県道認定になっている。

村道亀ヶ代中ノ目線は、平成9年度から平成10年度に交通安全施設整備工事で歩道設置等の改良工事を実施し、平成14年度には地方特定道路整備事業において交差点改良工事を実施している。

県に、村道から県道の格上げの基準、及び他市町村道での格上げの事例がある

か確認したところ、県道への格上げは、基準はないが、認定の基準については、道路法第7条及び旧建設省の通達により、その地域においてバランスの取れた幹線道路網を構成することとされているとのことである。

また、県道に昇格になった事例については、「平成8年度以降、県道バイパス整備に伴い県道に格上げとした場合以外にはない」との回答をいただいた。

現時点では、村道亀ヶ代中ノ目線を県道に格上げをする要望については、今後状況把握につとめ、格上げについて模索してまいりたい。

問

村長として、何か村のため、集落のため残すべきではないか？

答

会津若松建設事務所に要望してまいりたい。



1級路線の村道亀ヶ代中ノ目線(中ノ目集落内)

集落周辺農道の拡幅を！

問

集落周辺の農道を村道に変更することについて、集落周辺の農道を消防用ポンプ車が消防活動しやすいよう村道に格上げして管理する考えはあるか伺う。

答

集落周辺の外周道路については、現在、ほぼ村道認定になっており、ご指摘の消防用ポンプ車の活動を含め、防災上、見直

しが必要となる農道がある場合には、消防担当課の総務課と産業建設課で協議を行い交通量、利用量、安全性等を勘案して村道認定について調査してまいりたい。

問

場所によっては法面だけ整備すれば十分幅員が取れる。予算的にも可能ではないか？火災が発生すれば近隣町村から消防車が集まる。そうなればポンプ車を待機させる場所の確保が必要となる。

答

火災現場における消防車を配置する場所も十分整備しなければならぬと考える。村内の状況をよく確認し、具現化に向け十分考慮したい。



小野議員の一般質問の模様を上記QRから動画でご覧になれます。

村政を問う

一般質問

3月定例会

小野 澄雄
議員

問

新型コロナウイルス感染症防止に向けて、教育現場を含めた本村の取り組みについて伺う。

答

「湯川村新型コロナウイルス感染症への今後の対応方針」を作成し、4回の対策会議を開催し、取り組み内容を確認している。

【教育長答弁】

小中学校では、3月4日から3月23日まで臨時休業とした。幼稚園は、通常業務だが、預かり保育は、極力、利用を遠慮していただくよう要請した。

問

渇水・洪水被害防止への恒久対策について、旧簡易水道水源地からの揚水計画の進捗状況はどうか。

答

揚水、送水試験までは完了済みで、水源地から約150m先の排水弁までの送水、排水路への放水は確認している。

【意見】

水源地からの揚水計画を村直営で実施することに決定して以来、事業は一向に進んでいない。

放水箇所は確定しており、送水ルートだけの問題である。渇水対策への恒久的施設整備として早急に進められたい。

働き方改革に伴う

財政運営について

問

会計年度任用職員の採用と行政のスリム化への取り組みについてこの度の制度改革は、処遇改善と合わせて、任用根拠を明確にすることで、人員配置の適正化を目指している。効率的な業務体制について伺う。

答

会計年度任用職員の選考状況は、フルタイム職員20名、パートタイム職員14名の合計34名に合格通知をした。行政のスリム化については、2年度に村全体の業務

量を把握し、定員適正化計画の見直しを図り行政のスリム化を目指していく。

財政規律と重点施策について、「入るを量って、出づるを為す」対策は？

問

高齢化が進む社会にあって、会計年度任用職員制度への移行に伴い、今後歳出予算の増加が見込まれる。さらに、公共施設整備事業に合わせた大幅な財源不足が懸念されるが、対策は？

答

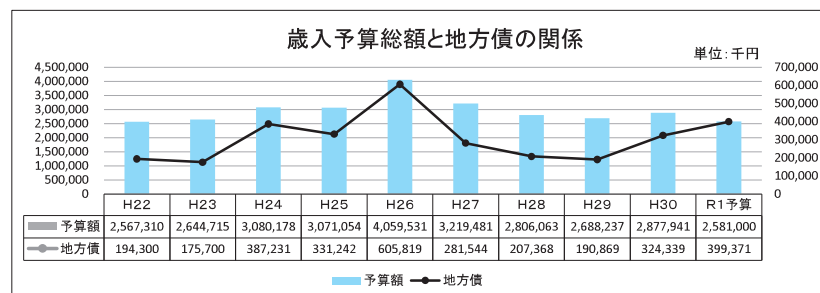
地方債の借り入れで公債費は上昇傾向にある。一般財源の村税・普通交付税の伸びは期待できない。子や孫など次の世代に本村が維持発展可能となるよう、子育てしやすい環境づくりや教育の充実、雇用の場の確保等、効率的に進めていきたい。

【意見】

自主財源を増やすために



小野議員の一般質問の模様を上記QRから動画でご覧になれます。



【コメント】歳入予算の増加は、地方債を増やすことで賄っている状況である。

も新たに『企業版ふるさと納税』を進めるべきではないか。

村政を問う

一般質問

3月定例会

篠竹 正弘
議員

問

移住・定住対策について、福島県東京事務所では移住・定住対策について移住推進員を配置して、7方部の移住コーディネーターと連携して取り組んでいる。そこで以下を質問する。

①本村では県の取り組みに応える情報発信や受入れ体制はあるか？

答

現在、村では「湯川村オンラインプロジェクト」において、観光や移住に関する特設Webページの作成やLINE@（ラインアット）での情報発信、移住パンフレットの作成などを行い、移住者の獲得や関係人口の拡大に向け、情報発信の強化や相談体制の強化を図っている。

また、堂畑地区の男性向けの「移住体験施設」、浜崎地区に整備した女性向けの「移住体験施設」を活用し、移住希望者やワーキングホリデー参加者等の受け入れを行っている。

問

②若者層の移住・定住政策はもちろんだが、定住後のシニア層へ田舎暮らしの移住・定住の取組みをし、その家族は関係人口になるがその考えはあるか。

答

現在、これらの取り組みについては、とくに対象年齢を設けず、広くすべての方を対象として実施している。

ただし、村の施策として「湯川村若者定住促進事業補助金」や「若者定住賃貸住宅」など、若者の定住を図るためのものが多いのも事実である。シニア層の方がご退職されてから当村に



問

移り住むことも村の関係人口を増やすことにつながると思うので、今後柔軟に取り組みでまいりたい。

空き家対策について、村内の空き家は、築年数、大きさ、家の事情等で、入居に至らない状況があるが、今後どのように進めるのか？

答

現在、村では66件の空き家があり、その内、賃貸または売買できる空き家は10件程度だが、老朽化が激しいものが多く、なんらかのリフォームが必要な物件がほとんどである。新年度から村で設置する空き家・空き地バンクや、民間事業者の全国版空き家バンクを活用し、迅速かつ正確な情報収集・発信に取り組んでいきたい。

問

過疎対策のひとつとして集落支援員の設置や、空き家対策では専

答

任職員の配置等があるが、村の状況を伺う。

現在、当村に集落支援員の配置はない。ただし、各集落に区長さんがおられるので、それに近い役割を担っていただいている。また、地域活性化に向けた取り組みのひとつとして、地域おこし協力隊員があり、農業系1名、観光系1名がそれぞれ、湯川村の地域活性化に向けた活動を実施している。空き家対策を担当する職員の配置は、現在、空き家の管理、移住者等へ空き家の紹介を行う職員が兼務となっているが、それぞれ配置し、連携して業務にあたっている。



篠竹議員の一般質問の模様を上記QRから動画でご覧になれます。

村政を問う

一般質問

3月定例会

菅沼 弘志
議員

村長の政治姿勢を問う

問

原発に対する基本的態度と今後の対応、原発に代わる再生可能エネルギー政策の考えは？

答

村では、住宅等への最大出力10kw未満の太陽光発電システムを設置した際、費用の一部を助成している。平成23年度からの実績は38件で426万7千円である。

問

米の全袋検査、牛の全頭検査への見解は？

答

全袋検査は、令和2年産米からは、抽出によるモニタリング検査に移行する。牛の全頭検査は、原則、畜産農家ごとに年間少なくとも1頭以上を検査する方式に4月から切り替わる。

問

村としては、風評被害払拭と農家の方の検査負担軽減に繋がるものと考えている。

入場整理券を村長の支援者に配布したという事実はあるか？

答

村では、あいづふるさと映画祭実行委員会に補助金を交付し、サポートしている。村長として実行委員会の一部をお手伝いし、当然、親族にもお繋ぎした。後援会かどうかというのはない。

【意見】

村長は公人であり、誤解を招くような行為はすべきではなかった。

問

来年度のふるさと納税の取り組みは？

答

来年度のふるさと応援寄附金事業についてではありますが、内容としては今年度の事業を引き続き継承していく。リピーターを大切にし、寄附者を村の宝ととらえ、事業推進していく。

問

ごみ減量化20%目標
ごみ減量化・再生利用対策について

答

平成30年度実績で家庭系燃やせるごみの1人1日当たりの搬出量は569・2gであり年々増加している。村では、生ごみ処理容器コンポスト、電動生ごみ処理機の設置補助、「雑がみ」、「布類」の分別を推進し、今後20%の減量を目指していく。

問

農業生産現場を踏まえた現状把握について

答

次年度、国で進める「人・農地プランの実質化」とし、役場、農業委員、農地利用最適化推進員、県連携のもと、村内各集落に出向き、今後5年から10年後を見据えた集落の農用地利用に関するプラン作成を依頼する。

問

湯川村におけるSDGsのうち農業分野における取組は？

答

SDGs（エスディージーズ）とは、「持続可能な開発目標」の意味であり、貧困解決や持続的社会の構築に関わる17

の目標が設定され、農業分野では、特に「飢餓をなくす」ための「食料供給」や「農福連携」の分野や「環境を保持する」といった面で関わりがある。

村では、環境保全型農業を村内各農業者団体に組み込んで頂いている。

SDGsとは持続可能な開発目標で、2015年9月の国連サミットで採択された「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2016年から2030年までの国際開発目標です。人間、地球および繁栄のための行動計画として、17の目標と169のターゲットで構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。



菅沼議員の一般質問の模様を上記QRから動画でご覧になれます。



村政を問う

一般質問

3月定例会

小林 孝一
議員

小学校統合へ一段上段階で検討始める

問 小学校統合について、先の村長選において大きな争点の1つであった、小学校の統合について、どのような見解をお持ちか？

答 統合小学校の議論は、学校統合の推進、小中一貫校の実践、義務教育学校の検討状況など視察研修を通して、教育委員会内部議論を進めている。特に施設面では、両小学校校舎等が築40年以上を経過し、今年度策定される公共施設等総合管理計画の個別計画で、施設の形態や維持管理・更新等の時期を構築し、必要とあれば一段階上の協議へと進む必要がある。

問 必要とあれば村長が判断すべきことである。財政上大きな問題もあり基金積み立ても増やさなければならぬ。村民の本意はどこにあるのか、目を開き、耳を傾けて結論を出していただきたい。

答 庁内、教育委員会、財政の現状を踏まえ一段階上に進むべく学校の在り方を十分検討していく。

問 村長の公約の1番に挙げた幼少中一貫教育の実現のための具現化手法について伺う。

答 現在教育委員会において、学校教育アドバイザーを中心に、教育委員会管轄の保育所を含めた15年間をつなぐ「ゆがわっ子プラン2020」を策定し、令和2年4月からス



築41年経過の笈川小学校



築40年経過の勝常小学校

タートさせる予定である。保幼小中15年間をつながるという一貫教育を目指して参る。

問 道の駅あいづにおける諸問題について、道の駅あいづにおける2つの裁判は何だったのか、見解を伺う。

答 二つの裁判とは、株式会社湯川会津坂下がテナント業者を相手とした「明け渡し請求訴訟」、株式会社湯川会津坂下を被告とした「処分撤回等請求訴訟」だが、両訴訟とも和解により終結となった。この二つの裁判では、道の駅の利用者、出荷者の皆様、村民の皆様をはじめ、議員にも大変な心配を掛け、二度とこのような事態がおこらぬよう、会社運営の改善、安定化を図っていただく。

問 最大株主として、巨額の公金を投じた道の駅は、当初目指した村の目標を達したと思うか？前社長の責任についてはどのようにお考えか？

答 道の駅あいづは、地元の利用者、出荷者の皆様に支えられ、地域活性化、交流促進の拠点としての役割を担い、今後、さらにさまざまな賑わいにあふれる場所になると期待している。

道の駅裁判 和解受け 今後も会社運営を支援

問 裁判における和解の中で生じた逸失利益や裁判費用の面等で、道の駅が村に与えた損害はありと考えるがどうか？

答 お互いに話し合った中で和解に至ったと解している。これから前向きにとらえ、会社運営を支援していきたい。



小林議員の一般質問の模様を上記QRから動画でご覧になれます。

各委員会研修報告

経済常任委員会視察研修
茨城県印西市（JA北つくば）
令和2年2月6日

経済常任委員 菅沼 弘志
「新品種（SD2号）栽培への取り組みについて」

2月4～5日は、湯川村経済常任委員会で茨城県JA北つくばを訪ねて、水稻の品種「つくばSD2号」の栽培について行政調査を実施して参りました。

つくばSD2号は、母親にコシヒカリ、父親にミルキークイーンを交配させて作った品種です。コシヒカリ一辺倒の作付けを見直そうとして研究の末に開発されたところです。

JA関係者、開発に携わってきた住友化学の方々の説明を受け、質疑応答です。当村においても6人の生産者の作付けが始まったばかりですが、指定の種のみを使うことばかりでなく、肥料・農薬の縛りがあり、経費がかさむことが心配され収量確保がカギと言えます。



つくばSD2号の説明を受ける議員

被災地研修 双葉郡富岡町
東電廃炉資料館
令和2年2月27日

議会議員 菅沼 弘志

2月27日に湯川村議会の被災地研修を実施いたしました。

東日本大震災から丸9年を迎えている現在、最も恐れているのは風化であります。福島県民が忘れてしまつては、本末転倒であります。

東日本大震災、大津波、原発事故、風評被害の4重苦に常に向き合つて

いくことは、湯川村議会の課題ではないでしょうか。

本来なら、現地で被災された現場の声をつぶさに調査して受け止める必要があります。しかし限られた時間ですので、東電第2原発のPR館を活用して作った「東電原発廃炉資料館」を視察して参りました。

9年前の3・11からの時間を追った第1原発の詳細な様子、緊迫した中での東電社員の奮闘ぶりなどを学習できたことが大きな成果でした。しかしながら、事故発生時の東電



研修を受ける議員団



廃炉資料館内にて

の対応、とりわけて、ベント（排気）対応について後手後手にまわったことや、事故後の放射能の拡散を示す「SPEEDI（緊急時迅速放射能影響予測）」システムデータの公開が大幅に遅れたことは許されるものではありません。

同時に、県内の原発全機廃炉を確実に成し遂げながら、再生可能エネルギーの普及、CO2を削減しつつ地球上の温室効果ガスを排除できる、先頭にたつ福島県、湯川村でなければならぬとの思いを強く持ちました。

湯川村議会の主な動き

1月15日	広域圏臨時議会
17日	会津方部自衛隊協力団体2020年新春賀詞交歓会 交通安全祈願祭 写真
	村商工会新年会
20日	例月出納検査 会津を開く講演会 湯川村農業委員会新年会
22日	広報広聴委員会
23日	会津東部土地改良区新年会
24日	湯川村選挙管理委員会新年会
25日	「みやぎ会津会」第13回総会（仙台市）
26日	文化財防火訓練 写真
27日	令和元年度町村議会議員研修会（郡山市） 写真
29日	会津坂下青年会議所新年会
2月 1日	蔵の街喜多方冬まつり
4日	議会全員協議会
6日～7日	経済常任委員会視察研修（茨城県筑西市）
7日	湯川村建設関連業種協同組合新年会
11日	小林昭一新春のつどい
13日	湯川村商工会青年部新年会
14日	新人議員研修会（福島市）
15日	復興副大臣菅家一郎2020新春交換会
16日	湯川村 福島大学 学生活動報告会
18日	老人クラブ連合会研修会
19日	国会議員・中央省庁要望（東京都） 写真
20日	福島県東京事務所長との意見交換会（東京都）
25日	例月出納検査 町村議会議長会大2回定期総会（福島市） 両沼地方町村議会議長会定期総会（福島市） 被災地研修（富岡町 東京電力廃炉資料館）
27日	議会運営委員会・議会全員協議会
3月 2日	第533回湯川村議定例会開会
9日～19日	教職員離任式
25日	転入教職員対面式
4月 2日	



交通安全祈願祭



文化財防火訓練



議員研修(郡山市)



中央要望

議会広報広聴委員会

高菅小	片	篠
倉沼林	委	桐
好弘孝	員	英
博志一	子	弘

副委員長
(篠竹 正弘)

今年の冬は例年になく暖冬で生活の不便さはあまりありませんでしたが、除雪においては各業界に大きく影響しています。また水不足も心配され、これからの時期に大きく影響します。梅雨時期に確保出来れば良いのですが、とても心配です。今、別の心配ごととして新型コロナウイルスの感染拡大が大きな問題です。見えない敵との戦いで、教育現場での異例な対応、自粛といった国民の行動、雇用・小売業・企業・経済にも甚大な影響が出ています。国では長期戦との見方もされています。日本を動かすエンジンが悲鳴を上げています。いまだ収束の見えない状況から本当の終息が来る日を願いたいと思います。

編集後記